

第463回今別町議会定例会会議録（第1回）

第1日（12月7日 10:00開会）

出席議員 7名

1番	本間 闘士 君	2番	太田 英一 君
3番	田中 哲也 君	4番	小倉 潤二 君
5番	成田 精市 君	6番	本郷 良克 君
7番	福士 和比古 君		

欠席議員 なし

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	中 嶋 久 彰 君
教 育 長	勝 野 義 彦 君
会 計 管 理 者	川 村 一 樹 君
税 務 会 計 課 長	
総 務 課 長	嶋 中 拓 実 君
企 画 財 政 課 長	岩 渕 健 君
町 民 福 祉 課 長	佐 渡 慶 剛 君
建 設 水 道 課 長	平 山 寛 哉 君
産 業 観 光 課 長	山 田 基 君
教 育 課 長	中 嶋 正 文 君
総 務 課 長 補 佐	遠 田 剛 洋 君
企 画 財 政 課 長 補 佐	太 田 和 泉 君
町 民 福 祉 課 副 参 事	山 崎 真 直 君
産 業 観 光 課 長 補 佐	田 中 讓 君
代 表 監 査 委 員	田 中 裕 文 君

職務のために議場に参加した事務局職員の職氏名

事 務 局 長	平 山 治 門 君
事 務 補 助 員	澤 田 祝 子 君

○議長

(本郷 良克 君)

おはようございます。

ただいまより第 463 回今別町議会定例会を開会いたします。ただいまの出席議員は 7 名であります。よって本定例会は成立いたします。

○議長

【 日程 1 会期の決定 】

会期について議題といたします。

お諮りします。本定例会の会期につきましては、議会運営委員会において、本日から 12 月 9 日までの 3 日間といたしました。これにご異議ありませんか。

(「意義なし」の声あり)

○議長

異議なしと認めます。よって会期は 3 日間と決定いたします。なお、会期中の会議の予定につきましては、お手元にご通知いたしました案のとおりでありますので、ご了承願います。

○議長

【 日程 2 会議録署名議員の指名 】

会議録署名議員の指名を行います。本定例会の会議録署名議員は、会議規則第 120 条の規定により

3 番 田中 哲也 議員

4 番 小倉 潤二 議員

を指名いたします。

次に、諸報告をいたします。監査委員から、令和 2 年 10 月分現金出納検査の報告がありましたので、写しをお手元に配布しておきましたからご了承願います。

(両常任委員会町内視察報告)

次に、両常任委員会より、視察研修の報告を行います。総務文教常任委員長より、視察研修について報告を求めます。

○総務文教常任委員長

(成田 精市 君)

おはようございます。

○総務文教常任委員長

それでは、総務文教常任委員会より報告いたします。

11月30日に、両常任委員会で町内視察として、先月開署した広域消防今別分署を視察して参りました。

案内は隊員の方にしていただきました。玄関はバリアフリーとなっており、車椅子の人も利用しやすいように作られています、職員と一般用に分けられています。冷暖房は灯油とエアコンです。また、多目的トイレでは、おむつの交換などもできるようになっております。事務室の机はフリーに使用でき、放送広報無線室は、他の人は入れないようになっています。タンクの灯油の量が室内で確認でき、車両はコンピュータ管理されております。青森消防の車両の状況がすべて分かるようになっています。庁舎の防犯カメラは1ヶ月自動保存されております。1階ではその他、食堂、トイレ、洗面所、シャワー室、乾燥室などがありました。2階ではトイレ、研修室、トレーニングルーム、仮眠室、書庫などがあり、女性専用のシャワー、トイレ、仮眠室も完備されております。掃除は隊員全員ですることになっておりました。

また、1階の車庫ではホースの乾燥も出来、消毒室では、センサーで部屋の開閉が出来ます。自家発電機は停電後2分で作動し、72時間もつように作られています。車庫の開閉は電動オーバースライダーで、即応体制になっております。

町民の生命と安全を守るために努力していただいております。以上、報告を終わります。

○議長

(本郷 良克 君)

続きまして、産業建設常任委員会から報告を求めます。

○産業建設常任委員長

(田中 哲也 君)

改めましておはようございます。

産業建設常任委員会から報告いたします。11月30日に、両常任委員会で町内視察として、建設水道課長とともに、工事が終了した町営住宅4号棟を視察してきました。この事業は、令和元年度から始まり、昨年度は3号棟が建設されました。各棟2世帯であります。部屋の間取りは、リビング10畳、6畳が2部屋、キッチンが3.7畳で、火災防止のためオール電化で作られ、冷暖房はエアコンで管理されています。

○産業建設常任委員長 換気は24時間行われ、気密性が高く、基礎がしっかりしているのです。近くで工事をしていても振動は伝わってきませんでした。外部の音に関してはほとんど聞こえてきませんでした。これから、改めてまた調査するということでした。

屋根はほとんど勾配がなく、無落雪に近いという説明を受けました、最新の設備を整えているので、入居者が快適に過ごせるのではないかと思いますしながら視察をしてきました。

以上、報告を終わります・

○議長 (本郷 良克 君)
以上で報告を終わります。

次に、今定例会に提出されました陳情1件につきまして、陳情文書表としてお手元に配布しております。取扱いについては、議会運営委員会において、委員会付託とすることといたしました。これにご意義ありませんか。

(「意義なし」の声あり。)

○議長 意義なしと認めます。よって陳情1件は、委員会付託とすることに決定いたしました

○議長 【 日程3 議案一括上程 】
次に議案を一括上程します。
町長より提案理由の説明を求めます。

○町長 (中嶋 久彰 君)
改めましておはようございます。
本日ここに、第463回今別町議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には何かとご多用の中歩出席を賜り篤く御礼申し上げます。
また、新型コロナウイルス感染症で亡くなりました方々に、この場をお借りいたしまして衷心よりお悔やみを申し上げます。
当町では町民皆様の感染症予防に対する意識の向上により、感染者は報告されておられません。しかしながら、全国的

○町長

に新型コロナウイルスの新規感染者は、秋以降拡大しており、収束の目処が立っていないのが現状であります。今後青森県内においても感染の拡大を否定することが出来ない状況であり、町といたしましては有事の際に備え、町民の安心・安全を第一に考え、コロナ禍対策について、これまで以上に様々な支援や事業、対策等を行って参りますので、議員の皆様におかれましても今後一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

今、各部署では新年度の予算編成に取り組んでおりますが、編成に当たっては今年度の事業を点検し、安易に前年度並みと踏襲する計画ではなく、様々な事業推進のための経費など、厳しい財政運営となりますが、創意と工夫により効率的で効果的な行政運営に努めてまいります。職員の創意工夫はもちろんのこと、議員各位からも積極的な提言をいただき、地域が一体となり取り組みことが出来ればと願っているところでもあります。

残念なことに先日、某新聞に「今の町政は計画性がなく、このままだと町の財政が大変なことになる」との掲載がありましたが、私はこの記事を見て、住みよい町を構築するため職員皆々が様々な知恵を出し合って、財政面を考え、日夜業務に取り組んできたのが何だったのかと思うところもあり、職員の気持ちを察しますと励ましの言葉もありません。当初の事業計画並びに当初予算を可決承認して推進してきた議員の皆様も、私及び職員同様に否定されていると思い、大変遺憾に思うところであります。

それでは今定例会に提案いたしました議案について、その概要をご説明申し上げ、ご審議の参考に供したいと存じます。

（ 町長による議案一括上程 ）

以上、上程いたしました議案の概要を申し上げましたが、細部につきましては議事の進行に伴い、私及び担当からご説明申し上げますので、慎重ご審議の上、ご可決くださるようよろしくお願いいたします。

【 日程 4 一般質問 】

○議長

(本郷 良克 君)

日程に従いまして、一般質問に入ります。通告の受付順に質問を許します。通告及び答弁は、できる限り簡潔・明瞭に願います。なお、質問については同一議題について質問回数の制限をなくし、本人の持ち時間を 2 時間以内としております。また、関連質問並びに通告以外の質問は認めませんので、ご了承願います。

2 番、太田 英一 議員に質問を許します。

○2 番

(太田 英一 君)

改めましておはようございます。2 番、太田 英一です。

それでは、一般質問の通告に従いまして、質問させていただきます。私からは、大きく 2 点質問いたします。

第 1 点として、新年度予算作成についてですが、今年度はコロナ対策に追われた 1 年であり、各種イベントや事業が中止となった年で、町民やイベント参加者は落胆をしていると思いますが、町ではいち早く町民に対して予防用品や、支援金の支給がされました。町民は感謝しているものと思います。私からも町に対して感謝を申し上げたいと思います。しかしながら、コロナウイルスの感染の拡大が続き、収束の見通しも立っていない状況で、町として、町民に対する今後の新たな対策等がありましたら伺いたいと思います。また、特に高齢者世帯やひとり親世帯に対する新たな支援対策等があるのか伺います。

さらに、コロナワクチンの報道では、国が 1 億 2,000 万回分の確保を、海外製薬会社から確保する旨、報道がありましたが、費用負担についても国費を充当する予定とされておりますが、当町の今後の見解は、というこの質問については、報道で、国費でまかなうということでしたので、この件については、質問というよりも、今後の見通しについて伺いたいということに変更させていただきたいと思います。

それから第 2 点目として、令和 2 年度を振り返って、今年実施した各種対策、支援について、町民の反応は、かなり評価も高いものだと感じておりますが、町民からの反応をどう

○2 番

感じているのかお伺いします。また、新年度予算の作成作業も進められておりますが、新年度の基本方針等を、現状で伝えられる範囲でお願いしたいと思います。

さらに、来年の町長選挙出馬の考えについても、併せてお伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

○議長

(本郷 良克 君)
町長。

○町長

(中嶋 久彰 君)

2 番、太田 英一 議員の質問にお答えをいたします。議員からは、大きく 2 点の質問が出されております。質問 1 として、「新年度予算作成について」ということで、「コロナ収束の見通しの立たない現状で、町民に対する対策」、「高齢者世帯やひとり親に対する福祉対策」、「コロナワクチンの接種や費用負担の対応」。

質問 2 として、「令和 2 年を振り返っての今後について」、「コロナウイルスの感染拡大で種々の対策、支援を実施していますが、町民の反応は」、「今年を振り返って新年度の町政運営の基本方針等、現状で伝えられる項目は」ということですが、私からは質問 2.についてお答えさせていただき、他の質問に関しては担当課より答弁をさせていただきます。

質問 2 の、今年を振り返って、今後についてということですが、令和 2 年を振り返ってみますと、コロナに明けてコロナに暮れていくという大変な年であったと思います。町民の皆様にはいち早くマスクの配布、飲食業等への支援、商品券の配布など、町としてできることをスピーディに実施して参りました。そのことが、町民の皆様に評価をいただいたということは私どもにとりましても、行政運営を行う上で、大きな励みとなります。また、コロナ対策のみならず、今年は道路の改修、新設、視距改良等でも、皆様から多くの喜びの声をいただいております。今後も、町民皆様の安心、安全の確保のため、色々な支援や事業、対策を行って参りますので、議員の皆様におかれましても、今後一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

○町長 新年度予算の編成についても、一に町民という信念と、町民の安心・安全を柱に編成作業を進めたいと思っております。また、これからの事業、対策等を実行するためにも、来年秋の町長選挙に再選を目指し出馬いたしたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

○議長 (本郷 良克 君)
総務課長。

○総務課長 (嶋中 拓実 君)
おはようございます、よろしくお願いいたします。
2 番太田議員の質問 1、「新年度予算作成について」の、一つ目の要旨についてお答えさせていただきます。
全国で新型コロナウイルス感染者、収束の見通しが立たない状況であり、今後の国・県の施策状況を注視し、有事の際には早急に対策を講じ、町民の皆様が安全、安心に過ごせますよう、努力して参ります。現在、当初予算の編成中であり、コロナ禍関係予算につきましては、今後継続して参りますので、ご理解願います。

○議長 (本郷 良克 君)
佐渡課長。

○町民福祉課長 (佐渡 慶剛 君)
おはようございます、よろしくお願いいたします。
今、太田議員の質問 1 の要旨 2 についてお答えします。コロナ対策として現在、高齢者世帯への新たな対策を検討しているところではありますが、現時点で、今年度から実施している福祉乗車証交付の無料化や、高齢者等見守り事業を強化し、来年度も継続していきます。ひとり親世帯に対する福祉対策としては、8 月 26 日に低所得者ひとり親世帯への臨時特別給付金を 26 世帯・39 名の対象者に、169 万円がすでに支給されています。今後もこのような給付金を実施されるときは、遅滞なく事務を進めて参ります。
要旨の 3 についてお答えします。10 月 29 日現在、政府はワクチンの開発に成功することを条件に、外国の製薬会社 2

○町民福祉課長

社と基本合意がされ、さらに１社は、日本の製薬会社が国内で流通させることを条件に、すでに契約を終えています。今後、接種時期や対象者が決まり次第、国から発表があると思います。なお、接種費用に関しては、全額公費でまかなわれると報道されておりますが、正式な通知はまだ入っておりませんので、今後の国の動向を注視していきます。

○議長

(本郷 良克 君)
太田議員。

○２番

(太田 英一 君)

新年度予算作成についての３つの項目については、様々な答弁をいただいて、これを、一所懸命職員の努力と創意工夫で町民のためになるように、結びつけていただきたいと思います。

それから、第２点目の令和２年度を振り返ってということで、これについても、町民からの反応も良く、第２弾、第３弾という形で支援策も実施されたり、今後実施する予定ということで、これらのことについても、よろしくお願ひしたいと思います。

新年度の予算を作る上で、私は、今年度否決された「移住定住促進住宅事業」、これについてですね、今後の今別町を考える上で必要な、本当に必要な事業だと思っております。それで私は賛成した訳なんですけれども、残念ながら否決になっております。これについても、できるものであればさらに熟慮を重ねた上で、新年度予算もしくは今後の長期計画に載せて、実現に向けて頑張っていただきたいなあと思っておりますけれども、その点について伺います。まず、教育や防災減災、福祉、それから色んな、少子化対策とかあろうかと思っておりますけれども、まずは流出人口の抑制、それから定着人口の確保という観点から言って、この移住定住推進事業というのは、非常に有意義なものだと私は考えておりますので、その点について、町のほうのお考えはいかがでしょうか。

○議長

(本郷 良克 君)
町長。

○町長

(中嶋 久彰 君)

前に提案いたしました移住定住制作の住宅建設について、残念なことに否決されましたが、今まで町は人口減少、少子高齢化ということで、口では皆様も良く耳にしていращやることと思います。しかしながら、大変難しい問題でありまして、未だに手は付けられてこないというのが現状でありました。しかし、このままでは町が衰退していく一方であると思い、移住定住政策ということで、住宅建設を提案したところでもあります。また、今後これからのことを考えてみますと、どうしても政策的には必要なことであるという観点に変わりはありませんので、これからまた色々な支援を受けながら、どのようにしていけばいいのか、また、議員の皆様からも色々なご提言をいただきながら、随時、そのために皆さんと一緒に話し合い、政策を考えていきたいと思っております。また、教育、それから防災減災、もちろんのこと福祉対策でもあります、人口減少に歯止めをかけるためにも必ず必要な施策でありますので、そここのところは、今後また一所懸命、皆様のご意見もいただきながら、頑張って参りたいと思っております。それらを含めて、今後また事業の推進のためにも、もう一度私は再選を目指して出馬したいということを、先ほどの答弁でも申し上げさせていただきましたので、よろしくお願いをいたします。

○議長

(本郷 良克 君)

太田議員。

○2 番

(太田 英一 君)

町長並びに職員の強い意志というか、意気込みというか、それを感じて、新年度予算についての作成は、まず私は見守って3月定例議会で素晴らしい新年度予算が作成されることを望んでおります。

それにはまず、これは質問ではなくて、お願いという形でお聞きください。職員一人一人が頑張っても、なかなか上手い予算作成というのは不可能だと思います。課を越えた連携とか、県、国、それから関係機関との情報の共有とか情報の収集に、町長を先頭になお一層頑張って今別町のために、町

○2 番 民のためになる予算編成に頑張っていたきたいと思います。

以上で私の質問を終わります。

○議長 (本郷 良克 君)
太田議員の質問を終わります。

【10:28】

5 番、成田 精市 議員に質問を許します。

○5 番 (成田 精市 君)

おはようございます。それでは通告に従いまして、質問させていただきます。

その前に、はじめに、新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、一刻も早く沈静化することをお祈り申し上げます。

私からは2問質問させていただきます。1問目として、「スズメバチの駆除について」であります。今年もスズメバチが多く見られました。刺された場合、一刻を争う危険な状況に陥るのは、皆さんもご存じかと思います。そこで、質問の要旨であります、「今別町ではどのような対策を取っているのか」、また、「刺された場合の抑制剤となるものが町内の医療機関に完備されているか」、「今後、町民への周知についてどのような対策を取っていくのか」ご答弁お願いいたします。

2点目は「町道山の上線道路改良工事について」であります。災害に強い国土づくりを進める上で、近年多発している災害等に備え、防災機能の強化を図るため、緊急避難道は絶対必要なものだと思います。整備計画に着手し、測量及び調査を実施している段階だと思います。そこで質問要旨を言います。改良工事に関わる住民からの了解は得られているのか、ご答弁お願いいたします。

以上、2問であります。よろしくお願いします。

○町長 (中嶋 久彰 君)

5 番、成田 精市 議員のご質問にお答えをいたします。議員からは、大きく2点の質問が出されております。

○町長

質問 1 として、「スズメバチの駆除について」ということで、「町ではどのような対策を取っているのか」、「特効薬(抑制剤)となるものが町内の医療機関に完備されているのか」、「今後の町民への周知等は」ということです。

質問 2 として、「町道山の上線改良工事について」、改良工事に関わる住民からの了解は得られているのかというご質問ではありますが、担当から答弁をさせていただきますので、よろしく願いをいたします。

○議長

(本郷 良克 君)
佐渡課長。

○町民福祉課長

(佐渡 慶剛 君)

よろしくお願いいたします。

質問の 1、要旨の 1 ですが、町ではどのような対策を取っているかについて、現時点で、目に見えるような対策を取っているわけではありません。9 月 3 日の毎戸チラシでもお知らせしたように、ハチに刺された時の対処法などの注意喚起を行っております。

「特効薬が町の医療機関に完備されているか」については、「特効薬」というものはありません。刺されないように注意することが大事で、スズメバチの特徴から、遭遇すると高い確率で襲われます。ですから、ハチの巣や、ハチが飛んでいる場所に近づかないことがいちばんの対処法です。スズメバチの多くいる山林やその周辺で働く人は、応急処置用の補助治療薬を携帯している方がいます。補助治療薬は、医師が必要と判断した方だけに処方されます。しかし補助治療薬を注射したから大丈夫というわけではなく、もしも刺された時は、できるだけ早く医療機関を受診することが望ましいです。

「今後町民への周知は」ということについて、先ほども申し上げたとおり、必要に応じて広報やチラシ等により注意喚起を行っていきますので、よろしくお願いします。

○議長

(本郷 良克 君)
平山課長。

○建設水道課長

(平山 寛哉 君)

おはようございます。

私から、質問 2 の「町道山の上線道路改良工事について」、住民から了解を得られているかについてお答えいたします。

当路線の工事概要について、11 月 25 日、関係する住民への事業説明会を開催いたしました。また、10 月 28 日には行政説明会を開催し、議員の皆様には事業概要の説明及び、事業へのご協力をお願いしたところでございます。

この事業は地域住民の安心・安全を守る避難道路として必要不可欠な、重点事業と考えております。現在、事業を円滑に進めるため、説明会に参加できなかった方々も含め、事業概要や区域など、職員が個別に訪問をして事業の説明を行っているところでありますので、今後とも皆様の更なるご理解とご協力をお願いいたします。

○議長

(本郷 良克 君)

成田議員。

○5 番

(成田 精市 君)

1 点目のスズメバチについてであります。町では防護服は何着用しているのか、また駆除件数は今年どれくらい、町で行ったものがあるのでしょうか。

○議長

(本郷 良克 君)

佐渡課長。

○町民福祉課長

(佐渡 慶剛 君)

現在、スズメバチの駆除に使う防護服は 3 着、町では 3 着持っております。今年の貸出件数は、防護服の貸出件数は 11 件です。

○議長

(本郷 良克 君)

成田議員。

○5 番

(成田 精市 君)

防護服についてであります。借りた人からの声ですけれども、スズメバチの駆除は暑いときがほとんどだと思いますので、その場合、防護服を着て、たいへん暑い、もう少し何とかならないかというような声が出ております。それで、クーラー付きの防護服とかもっと良いものを用意するような計画はありますか。

○議長

(本郷 良克 君)

佐渡課長。

○町民福祉課長

(佐渡 慶剛 君)

今言われた、クーラー付きって言いますか、扇風機のようなものが付いた形のものだと思うんですけども、今のところ、そういったものがあるというのは、ちょっと認識していません。夏場の暑い時期、どうしても、ハチの針が刺さらないようにということで、着ている防護服そのものもどうしても厚いものになっています。ですので、どうしても暑くて汗もいっぱいかくというようなことは仕方ないのかなと思っていますけれども、今持っているいちばん新しいやつは、多少薄くなって丈夫なと言いますか、生地が薄くなっているものが、3枚のうち1枚は持っています。今後、そういう改良されたものが出てくれば、そちらのほうに切り替えていきたいと思っています。

○議長

(本郷 良克 君)

成田議員。

○5 番

(成田 精市 君)

隣の町、外ヶ浜でも、今回たまたまスズメバチの駆除について、質問事項で上がっておりました。我が今別町は、数年前に1人、今年1人と、死亡者を出しております。そのことに、私はすごく、今別町はもっと力を入れていかなければいけないのではないかという意味で、今回の質問させていただきました。

防護服、今の質問で、ほかの人から聞いたら、やっぱりそういうクーラー付きみたいな感じのものがあって、10数万するというようなことも聞いております。予算的には、ほかの物と比べても、人命に関わるものですので、そう高いものでは、私はないと

○5 番

思います。どうぞこれから、もっといいものを町で整備し、人命が、また死亡するようなことがないように、していかなければならないのではないかと、私は考えるところであります。この件については、これで終わります。

第 2 点目であります。山の上線の改良工事についてであります。当然、緊急避難路の整備計画ということで、今行われているわけですが、周りの住民の方からの苦情があるということで、私は今回質問することにしました。家の前に杭打ちとかをされている、その了解は得ているのでしょうか。

○議長

(本郷 良克 君)
平山課長。

○建設水道課長

(平山 寛哉 君)

ただ今の再質問ですけれども、杭打ちの際には、現在、道路の本線の杭打ちを先に行いました。その際は、地域住民の方々に了解を得ていない部分もございますので、そちらに関しては、お詫び申し上げます。

○議長

(本郷 良克 君)
成田議員。

○5 番

(成田 精市 君)

やはり、住民の方の了解を得てから、町の土地に対して、杭は了解を得ないで打ってもそれは当たり前でありますけれども、やっぱり住民の土地に無断で杭を打てば、当然そこに住んでいる方は憤慨いたします。これからはどうぞ、そういうことのないように対処していただきたいと思います。

以上で私、成田 精市、質問を終わらせていただきます。

○議長

(本郷 良克 君)

5 番、成田議員の質問を終わります。

【10:43】

1 番、本間 闘士 議員に質問を許します。

○1 番

(本間 闘士 君)

おはようございます。

1 番、本間 闘士 です。まずはじめに、現在も新型コロナウイルス感染症に対し、最前線で適切な治療をし、感染拡大防止にご尽力されている医療従事者の皆様をはじめとする関係者の皆様には、深い尊敬と、多大なる感謝を申し上げます。当町ではこれまで感染者がおりませんが、年末には町外から帰省される方も多くなることが予測されます。もし感染者が出た場合も、対応等に万全を期し、何事もなく新年を迎えられますよう心から願っております。

それでは質問に参ります。私からは大きく 4 点ご質問いたします。まず、「新型コロナウイルス感染症対策について」であります。新型コロナウイルス感染症の猛威は、現在、第 3 波として日本各地の経済に大きく深刻なダメージを与え続けています。東京などの大都市では、経済だけではなく、治療する医療機関でも感染者の治療はもとより、医療従事者の確保等に追われるなど、医療崩壊寸前とさえ言われております。

そんな中で、当町では新型コロナウイルス感染症対策の一環として、これまで様々な経済支援に取り組んで参りました。飲食店、小売業やイベント出店者、遊漁船、ウニ出品者や理美容業などの事業者に対し、経済的な支援をして参りましたが、このたび行われた、今別町新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援助成金は、農業、漁業、林業、そして畜産業を営む、当町の基幹産業事業者に対しての経済的な支援でもあります。

私は、これまでも町が行う助成や支援に対し、できる限り町民の皆さんにご利用していただきたいと話して参りましたが、今回の支援助成金は、農業、漁業、林業、畜産業の方々にどれだけ支援できたのか気になるところでもあります。

そこで一つ目の質問です。今別町新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援助成金の申請状況についてお聞かせください。

次に、「津軽線沿いの踏切横断道路の舗装について」であります。津軽線の踏切を横断する道路は、主に浜名地区、西田地区、そして大川平地区の 3 カ所ありますが、浜名地区、そして西田地区の 2 カ所が、先月まで陥没している箇所があり、車や歩行者

○1 番

の往来が不便であったと認識しておりました。その後、早急に対応していただき、浜名地区、西田地区の陥没箇所は修繕されました。

これまでも何度か陥没しており、横断道路の性質上、車の往来や電車の走行等で、このような問題が起こりやすい場所であることは間違いありません。また、修繕には行政単独ではなく、JR との話し合いも必要不可欠な問題だとは思いますが、やはり町民の皆様の利用の多い道路でありますので、今後またこのような問題が起きたときの考え方として、これまで同様の修繕をするのか、もしくはこれまでの経緯を踏まえ、今後はより強力な、強固な舗装をする計画があるのかどうか、町の「津軽前泊い踏切横の陥没している箇所の修繕について」お聞かせください。

3 つめに、「今別町巡回バス待合室について」です。町内には、今別町巡回バスの待合室がいくつかありますが、その中味は、地域住民により設置されたものや、行政が計画的に整備したものなど、さまざまです。ある地区では地元の有志の方たちが灰皿を利用して設置したそうですが、老朽化が進み、新しく改修しようとしたが年齢的に厳しく、どうしたらいいか困っている、というお話も聞きました。当町は高齢化が顕著な町であり、巡回バスを利用しようとしても、雨や風、厳しい冬の雪をしのぐ場所がなければ、利用したいと思っても、外でずっと待っていることが出来ない高齢者の方もいらっしゃいます。このような観点から、待合室の整備は各地区を視察し、要望に応じて計画的に行うべきであると私は考えます。

そこで 3 つめの質問です。町では今後、「今別町巡回バスの待合室の整備について」どのように考えているのかお聞かせください。

最後に、「鋳釜崎、高野崎のトイレの冬期間の利用について」です。これまでも何度か一般質問にて質問されている内容ですが、今回改めて質問させていただいた経緯といたしまして、今年はコロナウイルスの影響で三密を避けるため、キャンプなどのアウトドアが流行いたしました。鋳釜崎、そして高野崎は当町の貴重な観光名所の一つでもあります。キャンプ場としての一面もあります。実は、キャンプを楽しむ人たちの間では、隠れた

○1 番

名キャンプ場として知れ渡っている場所でもあります。風光明媚な景観も理由の一つですが、トイレに関する評価も高いという事実があります。管理されていて、なおかつウォシュレットも完備しているキャンプ場というのは、実はそう多くありません。違う側面から見た場合、とてもハイスペックなキャンプ場で、景観の良さなども合わせると日本一なんじゃないかと言う方もいるほどです。ですが、冬期間の間は、鑄釜崎、高野崎ともにトイレの利用ができません。利用客は少ないかもしれませんが、もし仮に観光に来ていただいた方々が、今別町中心部から海岸線沿いを車で走った場合、平舘まで走らないと公共のトイレがありません。そのためか、悲しいことながら、公衆トイレで用を足せない人が、建物の裏で用を足してしまうのだろーと思います。排泄物が落ちていたりします。確かに、冬期間の管理の大変さや、水道の凍結のこと、暖房代などの経費等、町としても負担になるかもしれませんが、鑄釜崎も高野崎も当町の観光名所として、町が薦めているところでもあります。難しいというのは十分承知の上ですが、行政が観光にも力を入れるのであれば、必要な、最低限の設備だと私は思います。

最後の質問として、「鑄釜崎、高野崎のトイレの冬期間の利用制限について」町政の考え方をお聞かせください。

以上4点、よろしくお願いします。

○議長

(本郷 良克 君)
町長。

○町長

(中嶋 久彰 君)

1 番、本間 闘士 議員の質問にお答えをいたします。議員からは、大きく4点の質問が出されております。

質問1として、「新型コロナ感染症対策について」ということで、今別町新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援助成金の申請状況について。

質問2として、「津軽線沿いの踏切横断道路舗装について」。

3として、「今別町巡回バス待合室について」。

4として、「鑄釜崎、高野崎のトイレの冬期間の利用について」ということですので、担当課より答弁をさせていただきます。

○議長 (本郷 良克 君)
総務課長。

○総務課長 (嶋中 拓実 君)
よろしくお願いいたします。1 番、本間議員の質問 1 と 3 について、私から答弁させていただきます。

質問 1 の新型コロナウイルス感染症対策につきましては、産業観光担当分野における農林漁業の対象者につきましては、現在 147 名から申請をいただいて、ある程度確定しましたので、前回の産直販売所、道の駅いまべつ出品者等において、重複しないよう確認し、12 月中の交付に向けて事務作業を進めているところです。

次に、質問 3「今別町巡回バス待合室について」は、各停留所を今後確認し、検討していきますのでご理解願います。

○議長 (本郷 良克 君)
平山課長。

○建設水道課長 (平山 寛哉 君)
よろしくお願いします。
質問 2 の「津軽線沿いの踏切横断道路舗装について」答弁いたします。ご質問の舗装破損箇所は、町道西田都市計画線を横断する津軽線踏切へ隣接した箇所ですが、議員が述べられたとおり、補修材により塗装補修を完了しています。今後、道路パトロール等を強化し、安心・安全な道路環境の維持に努めて参りますので、ご理解をお願いいたします。

○議長 (本郷 良克 君)
山田課長。

○産業観光課長 (山田 基 君)
おはようございます。
私の方からは、「鋳釜崎、高野崎のトイレの冬期間の利用について」お答えをいたします。
町で管理する、国定公園を含めたトイレは、4 月から 11 月ま

○産業観光課長

では土日・祭日を除くほぼ毎日、清掃管理員が清潔環境を保ち続け、雇用契約終了後の12月から翌年3月までは、冬期間閉鎖させていただいております。これは、冬期間における観光客の減少や、除雪体制の構築の困難、並びにトイレ、水道施設の凍結防止の観点から、このような管理方法としているものでありますので、ご理解をお願いいたします。

○議長

(本郷 良克 君)
本間議員。

○1 番

(本間 闘士 君)

ありがとうございました。

それではまず、1 つめの質問、「新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援助成金の申請状況について」お聞きしたところ、現在、147 名の方が利用されているということで、回答をいただきました。新型コロナウイルス感染症に関しては、本当に先の見通しがありません。また、今別町にいらっしゃる、事業を営んでいる方、たくさんの業種の方がおられますが、それに対してやはり町として、こういう風にしていくというような姿勢が皆さんに知らされていないと、事業者の方は非常に不安になっております。そういった観点から、このように経済的支援をしてくださるということは、非常に事業者の方にとっては嬉しい話だと思います。そのため、なるべく利用していただき、少しでも新型コロナウイルスの財政的な負担を軽減できれば、より良いのかなと私は思っておりました。この質問に関しては、以上で終わります。

すみません、そのまま話してもいいですか。次に、「津軽線沿いの踏切横断道路の舗装について」であります。この踏切を横断する道路は、利用される方も多く、万が一事故が起きてしまった場合に、取り返しの付かない事態になってしまいます。町単独で動けない箇所であるが故に難しさがあると思いますが、修繕に関しては町側から迅速に対応してくださってありがとうございました。先ほど答弁の中に、道路パトロールを強化するというお話がありましたが、今現在どのくらいの回数で、これからどのくらいやっていくのかといったお考えがあればお聞かせください。

○議長 (本郷 良克 君)
平山課長。

○建設水道課長 (平山 寛哉 君)
道路パトロールについては、基本的には月 1 回程度としておりますが、町内各地に工事現場等が、施工箇所がありますので、そちらに行く際なども含め、まず最近では 1 週間に 1 回ほどは町内を巡回しております。

○議長 (本郷 良克 君)
本間議員。

○1 番 (本間 闘士 君)
はい、ありがとうございました。月に 1 回から、1 週間に 1 回程度になると、確認する頻度も増えて、より地域の実情が分かって良いと思います。この質問に関しても、以上で終わります。

次に、「今別町巡回バス待合室について」であります、今後各停留所を視察し検討するというお考えだそうであります。今別町は非常に高齢化率も高く、巡回バスは当町を走る主要交通手段の一つでもあります。乗降客の多い少ないは地区によっても当然あると思いますが、高齢化が進んでいる実情を踏まえた上で、ご判断していただけたらと思います。

最後に、「鑄釜崎、高野崎のトイレの冬期間の利用制限について」ですが、この件に関しては、これまでの経緯から確かに難しい点もあると思います。冬期間の利用客の数に対して、費用のコスト面からも釣り合いが取れない部分ではありますが、しょうがないからといってそのままにしておいては、何も変わらないと思います。町外から観光に来てくださった方々が困らないようにしていかなければいけない、私はそう考えます。なので、この部分に関しては、町民の皆様、そして議員、行政の皆様の考えを集結させ、より効果的で効率のいい改善案を出し合いながら解決して行ければと思いますので、よろしく願いいたします。

以上で私の質問を終わります。

○議長

(本郷 良克 君)

本間議員の質問を終わります。

【11:03】

3 番、田中 哲也 議員に質問を許します。

○3 番

(田中 哲也 君)

3 番、田中 哲也 です、よろしくお願いいたします。私からは大きく分けて 3 点です。よろしくお願いいたします。

まず 1 つめ、「要介護者のおむつ代について」です。在宅介護、または施設入居者へのおむつ代の助成金はどのようになっているのか伺いたいと思います。

2 つめは、「町の広報誌について」です。出稼ぎ者へ送られているのか伺いたいと思います。

3 つめは、「海峡の家ほろづきについて」、管理の委託先はどこか、何人で運営されているのか伺いたいと思います。

以上、よろしくお願いいたします。

○議長

(本郷 良克 君)

町長。

○町長

(中嶋 久彰 君)

3 番、田中 哲也 議員のご質問にお答えをいたします。議員からは大きく 3 点の質問が出されております。

質問 1 として「要介護者のおむつ代について」ということで、在宅介護、または施設入居者へのおむつ代の助成金はどうなっているのか。

質問 2 として「町の広報誌について」、町の広報誌が出稼ぎ者に送られているのか伺いたいということ。

質問 3 として、「海峡の家ほろづきについて」、管理の委託先はどこか、また、何人で管理されているのか伺いたいということですが、担当より説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○議長

(本郷 良克 君)

佐渡課長。

○町民福祉課長

(佐渡 慶剛 君)

よろしくお願いいたします。

私からは、質問の 1 と 2 についてお答えいたします。はじめに質問の 1、「要介護者のおむつ代について」ということですが、おむつ代の助成につきましては、今別町在宅寝たきり老人等見舞品、紙おむつのことなんですけれども、の支給要項により、『在宅の 70 歳以上の寝たきり高齢者』に、おむつの現物支給を行っています。現在、対象者はありません。在宅の高齢者のみを対象とした事業ですので、施設入所者及び入院している方は対象外となるため、助成金等はありません。

次に質問の 2.「町の広報誌について」ですが、令和元年度末の出稼ぎ登録者数は 86 名で、そのうち、町広報誌を送付している方は 19 名となっております。町民福祉課の窓口で、『出稼ぎ労働者届出書』に記載していただくことにより、町の広報誌を送付できますので、届け出をお願いします。なお、住所変更されたときは、新しい住所をお知らせいただければ、そちらに送付いたします。以上、よろしくお願いします。

○議長

(本郷 良克 君)

山田課長。

○産業観光課長

(山田 基 君)

よろしくお願いします。私の方からは、「海峡の家ほろづきについて」お答えします。

海峡の家における宿日直等につきましては、地域の活性化の推進と、地域の方々の生きがいづくりに寄与するため、活性化グループの「津軽海峡 GBT」グリーン・ブルーツーリズムに管理を委託しております。グループの構成員は 6 名で運営されており、景勝地高野崎も含めた袈月地区の活性化に向けて積極的に取り組んでいる団体であります。

○議長

(本郷 良克 君)

田中議員。

○3 番

(田中 哲也 君)

それでは、1 つめから再質問させていただきます。

在宅で寝たきりの人には、町としてはおむつの助成があると、今現在は該当者はいないということなんですけれども、他町村では、施設入居者へのおむつ代の支給も行われている町村もあります。その辺の、今後の町の考えとしては、ありますか。

○議長

(本郷 良克 君)

佐渡課長。

○町民福祉課長

(佐渡 慶剛 君)

今現在は、先ほど言った支給要項により支給しておりますけれども、近隣の町村の動向も見極めながら、少し勉強させてください。

○議長

(本郷 良克 君)

田中議員。

○3 番

(田中 哲也 君)

なかなか財政厳しい状態ではありますが、何とかお年寄りを長生きさせるためにも、町で、在宅での寝たきりだけでなく、施設入居者にも配慮して、町で何とか助成できるような体制を、我々議員も色々考えながら、町と協議して行えるような体制を整えていきたいと思いますので、行政側のほうも色々考えて、一緒に対応していきたいなと思いますので、よろしくお願いいたします。

2 つめの「町の広報誌について」です。今現在 86 名の届け出があつて、19 名には送付していると。なかなか出稼ぎ者でも、色々な業種があつて、数ヶ月ごとにあちこち移動して歩いて、届け出を怠っている人もいます。今回のこの答弁によって、それを見た出稼ぎ者がきちんと届け出ることを願って、皆さんに広報誌が行き届いて町の状況が分かればいいのかなと。この質問に関しては、たまたまお盆に帰ってきた出稼ぎ者の方から、「最近届かないんだよな」と言われて、「いつも楽しみにしているのに」と。僕がその方の家族のところに行って聞いたら、多

分今は移動して、その異動先が、届け出ていないという話だと思いますので、これもしっかり、広報なり議会だよりで、何とか出稼ぎに行っている人たちの住所確認をして、広報誌を渡してほしいなと思います。

○3 番

3 つめは「海峡の家ほろづきについて」です。G B T 6 名で運営していると伺いました。管理人が飲食を、アルコールを伴う飲食を（宿泊者と）しているという話が聞こえてきております。その辺の事実確認を含めてですね、管理運営体制をしっかりして欲しいなと思います。また、施設内の、汚れている、掃除が行き届いていない箇所もあると、使用者から聞きました。その辺の管理体制もですね、徹底して管理してほしいなと思いますが、その辺はいかがでしょうか。

○議長

（本郷 良克 君）
山田課長。

○産業観光課長

（山田 基 君）
宿日直も含めまして、業務中に飲食と、飲酒については、当然あってはならないことだと考えております。今後とも、受託者の皆さんと共に、適正管理、清掃も含めた適正管理に努めていただきたいということで、こちらのほうからも再度お願いしてきたいと思います。

○議長

（本郷 良克 君）
田中議員。

○3 番

（田中 哲也 君）
観光客も出入りWして泊まったりしている場所です。しっかりと管理の体制を取ってですね、指導していった欲しいなと思います。なかなか、やっぱり、あそこに泊まって、近くの鑄釜崎だったり高野崎だったり観光するには最高の、もってこいの「海峡の家ほろづき」だと思いますので、徹底して管理の指導をして欲しいなと思います。

以上で、僕からの質問は終わります。ありがとうございます。

○議長

(本郷 良克 君)

田中議員の質問を終わります。

これをもって、一般質問を終了いたします。

本日は、これをもって散会いたします。

【11:13】